

# パリ協定に関する主なスケジュール

資料4

2016

2017

## 2018

2019

2020～

パリ協定の  
実施指針  
交渉

パリ協定  
発効

**補助機関会合、  
パリ協定特別作業部会**  
ドイツ・ボン  
(5月)

**追加  
実務者会合**  
タイ・バンコク  
(9月)

**COP24**  
ポーランド・  
カトヴィツェ  
(12/2～14)

**実施指針  
採択予定**

**COP25**

実施指針交渉

条約事務局、  
IPCC  
等

IPCC  
1.5°C特別報告書  
(10月)

**タラノア対話**

各国目標

2020年までの取組・支援強化 (**プレ2020**)

2020年までの  
提出を奨励

長期戦略  
の提出

各国の目標  
(NDC) の  
更新・提出

G7・G20

G7 カナダ  
(6月)

G20  
アルゼンチン  
(11月)

G7 仏  
G20 **日本**

G7 米  
G20 サウジ

その他

米  
パリ協定  
脱退表明  
(6月)

仏  
気候  
サミット  
(12月)

MOCA、  
パートナーズベルグ  
気候対話  
(6月)

ASEAN  
気候変動  
閣僚会合  
(7月)

One  
Planet  
サミット  
(9月)

グローバル  
気候行動  
サミット  
(9月)

国連  
気候サミット  
(9月)

米大統領選  
(11月)

※非政府中心

# COP24の主な議題

## ➤ 透明性 :

NDCの進捗に関する報告・レビューや、各途上国の能力に応じて付与される柔軟性の運用等

## ➤ 市場メカニズム :

二国間クレジット制度（JCM）等の市場メカニズムを運用する方法に関するガイダンス

## ➤ 緩和 :

各国の約束（NDC：削減目標）に含まれるべき情報や排出量・吸収量の算定に関するガイダンス

## ➤ 適応 :

適応に関して提出することになっている報告書の目的、記載事項、提出方法・頻度等に関するガイダンス

## ➤ グローバルストックテイク :

実施にあたって活用すべき情報、実施方法、成果物の活用方法

※グローバルストックテイクとは：パリ協定の目的及び長期的な目標の達成に向けた世界全体の進捗状況を定期的に確認し、各国がそれぞれの取組を強化するための情報提供を行う仕組み。2023年に第一回を、それ以降5年毎に実施。

## ➤ 資金 :

途上国への資金支援の実績・見通しに関する報告方法、適応基金の扱い

# 実務者会合（本年5月・9月）の概要

実務者会合（補助機関会合(SB)及びパリ協定に関する特別作業部会（APA））において、気候変動枠組条約、京都議定書、パリ協定の実施について、各国交渉官が議論。

（これまでの成果のポイント）

- 実施指針の項目や要素に関する各国の異なる見解が整理され、透明性、市場メカニズム、適応の議題などでテキスト案に近い成果物が作成された。また、SB議長及びAPA共同議長にテキスト提案を含むさらなる論点整理の任務が与えられた。
- 他方、COP24における実施指針採択に向けては、議題間で進捗に差が見られ、未だ多くの作業が残っている。また、先進国と途上国との間でパリ協定に基づく取組に差異を設けるべきとの強い主張（二分論）や資金支援の予見性を向上すべきとの主張など、各国の見解や立場に隔たりが見られる論点が引き続き残されている。

# COP24へ向けたタラノア対話の概要

- パリ協定の2度目標の達成に資する世界中の優良事例を共有する取組。
- あらゆるステークホルダーの温暖化対策を促進することを目指す。
- 3つの論点について議論
  - ① 今我々はどこにいるのか (Where are we) ?
  - ② どこへ行きたいか (Where do we want to go) ?
  - ③ どのように行くのか (How do we get there) ?

※タラノアとは、COP23議長国であるフィジーの言葉で、「包摂的・参加型・透明な対話プロセス」を意味する。

2018年1月 開始

UNFCCC事務局ポータルへのサブミッション  
～10月29日

サブミッションの概要  
をCOP24へ報告

12月3日～14日

COP24

準備フェーズ

政治フェーズ  
(閣僚級セッション)

提供された情報に関する  
声明、基調講演、円卓会議

## 我が国の取組

- 我が国の事例を国内外に共有するためのポータルサイト「タラノア JAPAN」を本年6月に開設。
- 事例の一部は、COP24において開催される「タラノア対話」への日本政府からのインプットに反映。
- これまで、日本政府・長野県・積水ハウス・戸田建設・IGES等、政府・自治体・企業・NGO等の様々なセクターから取組事例の投稿がある。
- COP24に向けて日本国内の気運を高めるべく、11月19日～12月2日に「気候ウィーク」を開催予定。



- UNFCCC事務局へ我が国の取組をサブミッション
- COP24の閣僚級セッションにおいて発表

報告

COP23・24議長  
によるサマリー

タラノア ● JAPAN

未来を拓く、あなたの温暖化対策 優良事例ポータル